

令和4年11月

小林市議会臨時会提出議案説明書

提案理由をご説明する前に、全国和牛能力共進会の結果について、ご報告をさせていただきます。

皆様ご承知のとおり、去る10月6日から10日にかけて鹿児島県で開催されました第12回全国和牛能力共進会におきまして、本市から出品した6頭を含む全ての宮崎県代表牛が優等賞を受賞するとともに、本市からの代表牛が、今大会から新設された第7区の脂肪の質評価群において、肉牛の部の最高賞に当たる内閣総理大臣賞を受賞いたしました。

本県が内閣総理大臣賞を受賞したのは4大会連続で史上初めての快挙であり、この偉業に、本市からの代表牛が3大会連続で貢献したこととなり、本市が「宮崎牛の本家

本元」であることを証明することができたものと考えているところであります。

本市の出品者をはじめ関係者の皆様におかれましては、9月に台風第14号の猛威に見舞われるなど、代表牛の飼養管理に大変ご苦勞をされたことと思いますが、今回の輝かしい栄譽に心からお祝いを申し上げますとともに、その「日本一の努力と準備」に深く敬意を表します。

なお、今大会では、宮崎牛がこれからの時代に対応した「日本一おいしい和牛」として最高の評価を受けましたが、このことは、長きにわたり和牛の改良に取り組まれた先輩方のたゆまぬ努力のたまものであるとともに、今大会全体を通して、特別区に出品した小林秀峰高等学校の生徒をはじめ

本市の若い担い手の活躍も目立ち、畜産業の未来を非常に楽しみに感じたところであります。

今後は、「日本一おいしい小林市産宮崎牛」や「和牛の聖地・小林市」として更なるPRを進め、シティセールスを有効に展開してまいります。

それでは、以下、議案について、ご説明を申し上げます。

報告第8号専決処分の承認を求めることにつきましても、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業費ほか3事業の経費に関し、予算措置を直ちに講ずる必要があったため、令和4年度小林市一般会計補正予算第10号について、令和4年10月7日

付けで専決処分いたしましたので、議会に報告し、その承認を求めるものであります。

報告第9号専決処分した事件の報告につきましては、大規模林道宇目・須木（2号）線の管理上の瑕疵により一般車両が損傷した事故に関し、和解の成立及び損害賠償の額を定めることについて、令和4年10月17日付けで専決処分いたしましたので、議会に報告するものであります。

議案第94号令和4年度小林市一般会計補正予算第11号につきましては、歳入歳出それぞれ1億1,642万1,000円を増額し、予算規模は292億2,234万2,000円となります。

まず、歳入につきましては、国庫支出金を

追加計上いたしました。

次に、歳出につきまして、ご説明を申し上げます。

総務費につきましては、地方バス路線を運行する事業者に対し、物価高騰対策支援金を支給するための費用を計上するものであります。

民生費につきましては、障がい福祉施設、高齢者施設及び保育所等を運営する事業者に対し、物価高騰対策支援金を支給するための費用を計上するものであります。

衛生費につきましては、医療施設を運営する事業者に対し、物価高騰対策支援金を支給するための費用を計上するものであります。

す。

商工費につきましては、宮崎県中小企業融資制度のみやざき再生支援特別貸付を利用した事業者に対し、利子補給補助を行うための費用及びエネルギー価格高騰の影響を受けている事業者に対し、支援金を支給するための費用を計上するものであります。

以上、よろしくご審議のほどお願いをいたします。